

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.5	BEEランク	A
建物名称	北海道大学総合研究棟(工学系)	総合評価	★★★★★	★★★★★	★★★★★
建物用途	学校				
延床面積	4,424.32 m <sup>2</sup>				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b> ★★★★★	<p>この建物は特に <b>緑化への取組</b> が優れています</p>
	省資源等 ★★★★★	
	緑化 ★★★★★	
	雪処理 ★★★★★	

3 設計上の配慮事項とCASBEEスコア	
<b>A 省エネルギー</b> <span style="float:right">合計 16点 / 24点</span>	
Q1 温熱環境	スコア 1.0 LR1 建物外皮の熱負荷抑制
Q1 光・視環境	スコア 1.0 LR1 自然エネルギー利用
	LR1 設備システムの高効率化
	LR1 効率的運用
<b>B 省資源等</b> <span style="float:right">合計 18点 / 23点</span>	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0 LR2 非再生性資源の使用量削減
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避
	LR3 地球温暖化への配慮
	LR3 地域環境への配慮
<b>C 緑化</b> <span style="float:right">合計 12点 / 16点</span>	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 3.0 LR3 地域環境への配慮
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 6.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0
<b>D 雪処理</b> <span style="float:right">合計 3点 / 3点</span>	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 LR3 地域環境への配慮
	スコア 2.0

4 設計上の配慮事項		
<b>A 省エネルギー</b>		
100mmの断熱材により建物の高断熱化を図り、外断熱とすることで躯体蓄熱による冬期暖房負荷低減を図った。 個別空調方式を採用することで、空調エネルギーの効率化を図った。 節水型衛生器具の採用により、水使用量の削減を図った。		
<b>B 省資源等</b>	<b>C 緑化</b>	<b>D 雪処理</b>
内外装材のパターンをなるべく統一し、建物スパンを900モジュールで統一することで、仕上げの材料ロスが少ない計画とした。	特になし	陸屋根形状とすることで、建物周囲への落雪に配慮した。 玄関前をピロティ空間として、内部への雪の吹込みへ配慮するとともに、アプローチ部分の除雪が不要な計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される